

金鷹山

平成26年(2014)11月1日発行
通巻第2号

発行所 若宮八幡社社務所
〒873-0004
大分県杵築市大字宮司336番地
発行者 宮司 紀田兼昭
電話 080(5503)3488

若宮八幡社 金鷹山 検索
神社公式ホームページ
立ち上げました。
御覧ください。

祝祭日には国旗を掲揚致しましょう

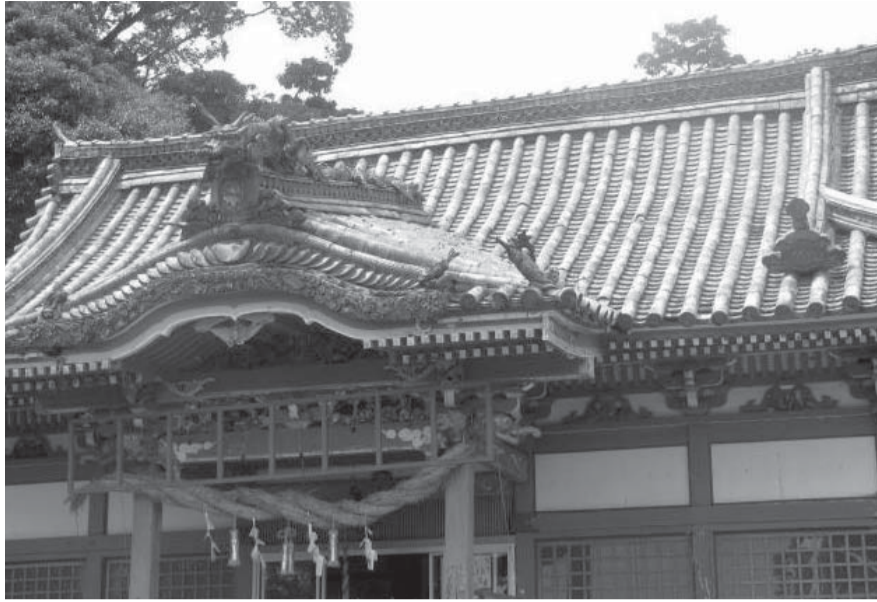


九百八拾年式年大祭元宮(浜田社) 神幸図

巻頭言 日本をもっと日本らしく

第三十三代宮司紀田兼昭

▲境内に掛けられた絵馬の御願いごとに一瞬目を奪われた。普通は「家内安全」や「健康息災」など個人の御願いを書くのだが、そこには「日本をもっと日本らしく」と記されていた。▲確かに現在の日本を鑑みるに、御皇室・靖国参拝に始まり、将来の人口減少危惧などに至るまで現代社会を取り巻く情勢は大変混迷を極めていると言つても過言ではないだろう。▲特に危惧されているのが教育に関する事案ではないだろうか。今春、とある学校の入学式で担任の先生が我が子の入学式に出席するために、自分の担任の子供たちの入学式を止む無く欠席した、という報道を記憶されていることと思う。▲確かに現在は、民主主義の時代なので、その先生は事前に校長先生に休暇届を提出されていたので何ら責められることは無いのだと思うのだが、この報道があつた時に一番心配したのは、この先生の子供さんの心情を慮つたことである。▲いまやネットの時代で、過剰なほどにマスメディアが反応し、賛否両論が喧しく掛け合わされているのを見るにつけ、この子は自分の親が世間の耳目を集めていることに、どれだけ思いを寄せている人がこの日本に居たのか疑問を抱かずにはいられなかった。▲長崎県佐世保市で起こつた悲惨な事件にしても、未成年の子供が起こしたことなのに、またしてもマスメディアを中心とした異常なまでの報道に辟易した思いを覚えたのは、恐らく小生だけではないと思います。▲こと子供さんに関する事案は、より一層の配慮が為されるべきで、大人がもう少し、精神年齢を引き上げなくてはならないのだと改めて痛感させられた。▲斯界においては「敬神生活の綱領」が掲げられており、神職や氏子総代のあるべき道標として唱和する。また明治天皇が喚発された「教育勅語」の十二の徳目や「五箇条の御誓文」は、今の日本教育界になくなくてはならない柱となるのではないか。その内容は紙面の関係上、読者各位の検索に委ねることとして、何故か学校から避けられてきた「教育勅語」や「五箇条の御誓文」をはじめ、先人たちの偉業をもう少し子供さんに教えて差し上げる時期に来ているのではないだろうか。▲イギリスには「知識には税金を掛けない」という大変素晴らしい諺がある。純粹無垢な子供さんたちを、次の世代を担う大人として正道な教育を施し、バトンタッチをする責務を負っているのは今の大人たちの最重要課題ではなからうか。▲六年後には東京でオリンピックが開催されることが決し、国民が皆六年後の自分の姿を思い描き、それを楽しみにしていることであろうが、勿論それも否定はしないが、明治維新の偉業を成し遂げた先人のような百年いや二百年先を見据えた国家観を持つことが望まれていると思われる。▲いずれにしても、前記するようなことが論ぜられているようでは、卒業式で「仰げば尊し」が唄われなくなってしまうのも、必然のことと忸怩たる思いになってしまうのである。▲冒頭にある「日本をもっと日本らしく」の戒めを肝に銘じて、毎日の神明奉仕に邁進していくことしか我々神職には出来ないのだが、読者・氏子崇敬者の皆様方の御高覧を是非とも戴きたいものである。▲創刊第二号を見た社報「金鷹山」、今号は来年に控えた御鎮座壱千参拾年祭記念事業を特集しております。(兼昭)



来春修繕予定の御社殿



来春修繕予定の随神門

若宮八幡社御鎮座
壱千参拾年祭
記念事業問合せ先

事務局/紀田兼宣(禰宜) 080(5503)3488
会計総代/門熙(富坂門生花店) 090(4354)7170
若宮八幡社公式ホームページ「金鷹山」で検索いただけます
(メールでの問合せも可能です)
尚、紀田宮司家(自宅)につきましては、高齢のため御問合せ又奉賛の
承り等は御受け出来ませんので、何卒あしからず御了承下さい。

若宮八幡社式年 御鎮座壱千参拾年祭記念事業の 概要について

経緯の御説明と御奉賛の御願い

若宮八幡社は、寛和元年(西暦九八五年)に、京都男山に鎮座されます石清水八幡宮様より紀兼貞朝臣が御尊像(大鷦鷯命・菟道稚郎子・宇礼姫・久礼姫)四柱を奉じて勧請申し上げ、瀬戸内海を西進の上、この豊後国速見郡八坂郷に下向、八坂川のほとり現在の浜田社に御鎮座されてから明平成二十七年(西暦二〇一五年)が丁度、一〇三〇年という佳年に当ります。

昨年創刊を見た当社の社報「金鷹山」第一号でも御報告申し上げましたが、この佳年を寿ぎ関係者一同慎重なる審議を重ねて参りました結果、この度記念事業を行うことと相成りました。

境内諸施設の状況でありませんが、社殿等の建物に白蟻の被害、また塗装についても剥落が見受けられ、雨漏り対策や各種の修繕工事を講じていく必要があるものと判断致しました。昨平成二十五年五月に開催された評議員会で、区長の皆様方に御報告申し上げ、承認を戴いてから審議に着手致しました。

先ずは若宮八幡社での財源を確保することを確認し、当社の一般会計積立金及び斗初穂会計からの繰入金を捻出し、その他補助申請等も勘案致しましたが、この記念事業を完遂するには氏子崇敬者の皆様方の御篤志による奉賛事業を行い度、今平成二十六年五月に開催されました評議員会で御挨拶まで申し上げます。

途中経過報告を行い、この度次の概要計画を取り纏め、併せて氏子崇敬者の御奉賛を茲に御願ひ申し上げます。具体的には、評議員並びに地区担当の総代が、氏子並びに篤志家の皆様に趣意書を持参申し上げ、懇切にこれまでの経緯と奉賛に対する御願ひの御説明をさせていただきます。

若宮八幡社 御鎮座壱千参拾年記念事業 大綱一覧

【主な記念事業工事】

事業内容	備考
① 御本殿瓦塗装木工事	
② 随神門瓦塗装木工事	
③ 白蟻駆除工事	先行にて施工済み
④ 随神像修復工事	左右一対の随神像を補修塗り直し
⑤ 奉賛者芳名板の作成	拜殿に芳名板を設置予定
⑥ その他の記念事業	①～⑤以外の事案を行う

【記念事業 組織編成】

組織	氏名	役職	摘要
代表役員	紀田 兼昭	若宮八幡社宮司	
委員長	森 昭	若宮八幡社責任役員	
副委員長	中山 休	若宮八幡社責任役員	
副委員長	中野 昭夫	杵築地区区長会長	
副委員長	上田 重毅	北杵築地区区長会長	
副委員長	紀田 兼宣	若宮八幡社禰宜	事務局
実行委員	門 熙	若宮八幡社総代	特別会計
実行委員	本多 泰久	若宮八幡社総代	斗初穂会計
実行委員	衛藤 清孝	若宮八幡社総代	
実行委員	笠置 壽	若宮八幡社総代	祖霊開運講会長
実行委員	河本 理宏	若宮八幡社総代	斗初穂会計
実行委員	篠田 直人	若宮八幡社総代	
実行委員	三浦 源治	若宮八幡社総代	
実行委員	各地区の区長御一同		

- ① 上記実行委員が12月を目途にお伺い申し上げます
- ② 奉賛申込み書類一式は若宮八幡社の社頭でも用意しております
- ③ 奉賛金額は一口5,000円とさせていただきます
- ④ 一括と分割をお選び下さい[特別会計口座への振込みも可能です]
- ⑤ 奉賛金額に関わらず芳名を拜殿芳名板に明記し永久に顕彰致します
- ⑥ 奉賛による個人情報は本記念事業のみに使用させていただきます
- ⑦ 記念事業の詳細は若宮八幡社公式ホームページでも御覧いただけます
……『金鷹山』で検索下さい(メールでの御問い合わせも可能です)

【特別会計予算】

○収入の部

1, 繰入金A	4,000,000円	若宮八幡社斗初穂会計から繰入れ
2, 繰入金B	2,000,000円	若宮八幡社一般定期預金から繰入れ
3, 紀田宮司家基金	3,500,000円	奉賛事業進捗に応じて助成金を抛出
4, 補助金	0円	杵築市文化財としての補助金
5, 助成金	50,000円	全国八幡宮連合会からの助成金
6, 篤志奉賛金	5,000,000円	氏子崇敬者,篤志家からの奉賛金
7, 玉串料	250,000円	記念大祭斎行にあたり神前に奉奠
8, 雑収入	200,000円	預金利子,その他1～7に属さない収入
収入合計	15,000,000円	

○支出の部

1, 祭典費	300,000円	記念大祭[神饌費,直会費,その他]
2, 工事関係費	13,400,000円	下記工事関係ABCの合計金額
A, 本殿,随神門修繕工事	10,700,000円	施工業者 (有)藤原建築
B, 随神像修復工事	1,700,000円	施工業者 如法
C, その他予備工事費	1,000,000円	上記のABに属さない工事への支出
3, 調度装束費		本殿内の装飾品[紀田禰宜調製奉納]
4, 記念品費	500,000円	奉賛者への記念品
5, 事務雑費	200,000円	趣意書,領収書,郵便代,振込手数料ほか
6, 予備費	600,000円	款項目流用のため設ける
支出合計	15,000,000円	

歳入-歳出共に 15,000,000円の特別会計予算を計上
※収入の部6篤志奉賛金 5,000,000円を奉賛活動での目標金額とする

- ⑧ 紀田宮司家高齢のため奉賛金等の授受はお受け致しません
- ⑨ 社殿ほかの着工は平成27年1月中旬を予定しております
- ⑩ 記念事業及び奉賛状況は随時公式ホームページで更新の上、御報告致します
- ⑪ 本事業を第1期として第2期は1,050年(平成47年)で境内整備等を完遂致します

若宮八幡社御鎮座壱千参拾年祭 記念事業問合せ先
事務局/紀田兼宣[080-5503-3488]
特別会計総代/門熙(富坂門生花店)[090-4354-7170]まで

世は変われども神は変わらぬ 廣大無辺な御神徳・京都石清水八幡宮の御紹介

若宮八幡社の親神様である京都男山に御鎮座される石清水八幡宮を御紹介致します。男山は都から見て裏鬼門（南西）に位置し、鬼門（北東）に位置する比叡山延暦寺と共に都の守護・国家鎮護の社として篤い崇敬を受けて来ました。

御祭神は御本殿中央に応神天皇様、西に比咩大神様、東に神功皇后様をお祀りしています。

『吾れ都近き男山の峯に移座して国家を鎮護せん』平安時代初め清和天皇の貞観元年（西暦八五九）南都大安寺の僧・行教和尚は豊前國の宇佐神宮に籠り日夜祈願を捧げ右の御託宣を戴き、男山の峯に御神霊を御奉安申し上げ、朝廷は翌貞観二年（西暦八六〇）に同所に八幡造りの社殿を造営し、四月三日に御鎮座にられました。

爾来、清和天皇の嫡流である源氏一門は八幡大神様を氏神として尊崇し、全国各地に八幡大神様を勧請しました。源義家は石清水八幡宮で元服し、自らを「八幡太郎義家」と名乗ったことは有名です。

明治の初めには官幣大社に列せられ「男山八幡宮」と改称されましたが、「石清水」の社号は創建以来の由緒深い社号であるため、大正七年には再び「石清水八幡宮」と改称され現在に至ります。



石清水八幡宮



高良神社

『世は変われども神は変わらぬ』八幡大神御託宣

出典 石清水八幡宮公式ホームページより

石清水八幡宮様が男山に御鎮座されてより、百二十五年後（西暦九八五年）に八幡大神様を勧請し、瀬戸内海を奉じて当社元宮（現在の浜田社）にお着きになられてから明平成二十七年（西暦二〇一五年）で丁度壹千参拾年を迎えようとしております。

石清水八幡宮様の例祭日（九月十五日）を卜して当社で仲秋祭・楽の市が奉納されるのは、このような神縁によるものです。

境内には撰社（高良神社・こうらじんじや）が鎮座されます。御祭神は武内宿禰（たけのうちのすくね）様です。紀田宮司家累代の始祖神様でもいらつしやいます。創建は石清水八幡宮様と同じく貞観二年（西暦八六〇）と伝えられ、徒然草第五十二段、仁和寺のある法師が石清水八幡宮に参詣しようとした処、山麓に鎮座する高良神社を本宮と勘違いして山上まで登らずに帰ってしまった話は有名です。

廣大無辺な八幡大神様の御神徳を戴きに京都男山に是非とも参詣されますよう御紹介申し上げます。

若宮八幡社今年度の報告

恒例祭典・斎行と研修会の実施

今年度の若宮八幡社での御報告を申し上げます。

《春季大祭・御田植祭》

四月六日（日）

午前十二時から御神前に於いて春季大祭（祈年祭・きねんさい）を斎行し、神様に秋の実り多きことをお願い致し巫女さんの神楽舞の奉納、引き続き午後二時から斎庭に於いて御田植祭が執り行われました。事前の結婚式で神様から御神意を戴き、見事な男の赤ちゃんを授かりました。

《速見支部研修旅行に参加》

大分県神社庁速見支部（杵



4/6 御田植祭



4/6 御田植祭

築・日出・山香の合同地区）で毎年この時期に開催しております研修と相互親睦を目的とした日帰り旅行です。今回は禰宜紀田兼宣が奉職修行しております福岡県久留米市鎮座・筑後国一の宮高良大社を正式参拝致しました。その後一同は、山麓にある陸上自衛隊久留米駐屯地で資料館を拝観及び構内売店で買い物などを行いました。

《仲秋祭・楽の市》

九月十三日（土）

上記の記事で説明しましたように、親神様である京都石清水八幡宮の例祭日に併せて斎行されました。午前十一時から御神前に於いて仲秋祭を斎行、親神様の例祭を奏ぎ祝詞奏上、午後二時から斎庭に於いて楽の市が奉納されました。昔は市場も賑やかに催されておりましたが、現在は中津屋区の皆様方による奉納行事があります。

《国民精神昇揚研修会》

九月二日・三日の二日間実施
毎年、一泊二日で実施されて



9/13 楽の市



9/13 仲秋祭にて顕彰を奉告



5/20 速見支部研修旅行
筑後国一の宮高良大社正式参拝

大分県内の神社関係者（神職・総代・敬神婦人会ほか）が一堂に会し、講演会や懇親会を行うことにより資質と教養を深めると共に、お互いの親睦を図ることを目的としております。本年度はこの研修会に於いて、若宮八幡社恒例祭典に神楽を奉納される三名の神楽師の方々が表彰の栄に浴されました。永年にわたる神様への赤誠の奉仕に感謝申し上げますと共に、いつまでもお元気で御奉仕をお願い致し度存じます。

- 若宮八幡社神楽師（年田在住）
- ・川野政信（かわの まさのぶ）
- ・毛利重保（もうり しげやす）
- ・安倍雄次（あんべ ゆうじ）

若宮八幡社 これからの祭事

詳細は公式ホームページ「金鷹山」を御覧ください

若宮八幡社のこれからの祭事に
ついてお知らせ致します。

《新嘗祭・こいなめさい》

十一月二十四日(月)

秋の実り収穫の多きことを神様に御奉告申し上げ、神恩に感謝する神事です。斗初穂奉納者のお名前も併せて神様に御奉告致します。

《七五三祈願祭》

十一月十五日(土)が基本となりますが十一月中も祈願を承ります。

祈願申込み先
禰宜 紀田禰宜 080455033488
総代・門照 09043547170

《例大祭・れいたいさい》

若宮八幡社で最重義とされる年に二度の大祭です。

十二月二日(火) 前夜祭

十二月三日(水) 例祭・お下り

・神輿が頓宮まで下られます

十二月四日(木) 頓宮祭

・長寿交通安全祈願祭

・午後二時からみさき神楽奉納

(お一人 一、五〇〇円)

十二月五日(金) お上り

・頓宮からお還りになります

《新年初詣》

正月三日が日破魔矢縁起物を頒布
詳細はHP「金鷹山」をご覧ください



例大祭お下り



お上り着御



例大祭お上り



頓宮での浜八人

神社検定



あなたも神社に対する知識を深めてみませんか？

Q お祭りでは、米や酒、魚や野菜果物などが神様に供えられますが、この神様のお召し上がり物のことを何と申すのでしょうか？

A 神饌(しんせん)

解説↓神饌(しんせん)は神様へのお供え物に対する言葉で、日本書紀に天照大御神様が天孫邇邇尊(ににぎのみこと)が降臨されるに当たり斎田稲穂の神勅を授けられたことを機に、古来我々日本人の主食はお米とされて来たのです。

Q 三種の神器とは何でしょうか？ またそれぞれどこにお祀りされているのでしょうか？

A 八咫鏡(やたのかがみ)、天叢雲劍(草薙劍・あめのむらくものつるぎ)、八坂瓊勾玉(やさかにのまがたま)と称されており

① 八咫鏡は三重県の伊勢神宮(内宮)

② 天叢雲劍(草薙劍)は愛知県の熱田神宮

③ 八坂瓊勾玉は天皇家のお住まい(御所)に、それぞれお祀りされております。

Q 《出題》 神社検定問題から

神社検定は日本文化興隆財団が主催し、神社本庁監修のもと、より多くの方に神道や神社について正しい知識の啓発と日本文化の再認識を図る教化事業です。毎年、六月下旬に全国約五十ヶ所での会場で検定が行われており、老若男女沢山の皆さんが知識を競い合われております。

参級と式級として壹級の3検定があり参級と式級は併願出来ます。壹級は式級の合格者のみ受験出来ます。それぞれ4択マークシート方式一〇〇問で、そのうち七〇問以上が合格となります。

合格者には絵馬型合格認定証(長野県本曾檜材製)が戴けるとのことです。是非貴方もこの「神社検定」を受けられてみてはいかがでしょうか？

「神社検定」で検索戴くと公式ホームページにアクセスできますので御覧下さい。神社本庁：全国8万の神社を包括する組織として昭和二十二年に設立されました。

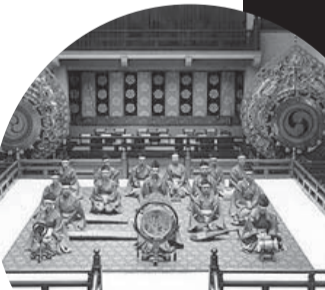
平安のオーケストラ 雅楽について

雅楽は平安時代から伝わる古のオーケストラです。中国大陸から伝来した雅楽を「唐楽・とうがく」、また朝鮮半島から伝来した雅楽を「高麗楽・こまがく」といい、大きく二つの様式に分けられております。その他、古代日本で独自に形成されたものを「神楽・かぐら」と称してそれぞれ独自の発展を見て今日の「雅楽」に至りました。

発祥元である中国大陸や朝鮮半島では、その悲しい歴史の中で時の為政者により、雅楽はすべて灰燼に帰しており、残念ながら正統な雅楽を継承しているのは、わが日本国のみであります。

管絃と呼ばれる舞を伴わない演奏様式は、鞀鼓・太鼓・鉦鼓からなる三鼓、琵琶・楽箏からなる両絃、箏・鳳笙・龍笛からなる三管で構成されており、総勢十六名の演奏者で雅楽が奏されます。所謂、指揮者となるべき担当が無く、龍笛の音頭の独奏から始まり、付け所という場所から合奏演奏が奏でられるのです。これには日本の相手を思い遣る優しい心、阿吽の呼吸が必要とされており、我が国も幾多の艱難辛苦の歴史を経ながらも現在、雅楽が継承されていることは誠に誇るべき文化であるといえます。

しかしながら、現在の近隣諸国との軋轢を垣間見るに残念でなりません。雅楽を通して、歴史を育んで来た中国・韓国・そして北朝鮮という隣国と距離感を少しでも縮めていくためにも、雅楽を継承していくことは日本人にとって本当に意義あることではないでしょうか。



宮司、禰宜、役員総代活動報告

一月 一日	若宮八幡社歳旦祭 (二月四日まで社頭奉仕)
二月 二三日	八坂神社春祭
三月 十六日	船部若宮八幡社祭
三月 十六日	大片平若宮八幡社祭
三月 二二日	春季祖霊祭
三月 二五日	総代会(予決算打合せ)
四月 三日	速見支部総会
四月 三日	若宮八幡本社春季大祭
四月 六日	若宮八幡社春季大祭
四月 六日	総代会(八幡社合同)
五月 十三日	九州各県神社庁大会 (福岡県 十四日まで)
五月 十四日	評議員会打合せ会
五月 二十日	速見支部研修旅行
五月 二二日	評議員会
六月 十四日	嵐山瀧神社祈願祭
六月 二二日	若宮八幡本社根付籠祭
七月 二二日	神明社祭
七月 二四日	大内天満社夏祭
八月 五日	総代会(区長会長会)
九月 二日	国民精神昂揚研修会 (別府杉乃井ホテル 三日まで)
九月 十三日	若宮八幡社仲秋祭
九月 二三日	秋季祖霊祭
九月 二八日	若宮八幡本社御願成就
十月 五日	貴布禰社祭
十月 二二日	若宮八幡本社秋季大祭 (平成二十六年10月10日まで)

編集後記

紀田禰宜のつぶやき

▲若宮八幡社社報「金鷹山」第二号を皆様方にお届け致します。今回は来年に近づく記念事業の特集記事を中心に神社の活動報告やこれからの展望などを纏めてみました。▲公式ホームページ「金鷹山」で検索出来ますので是非ご覧の上、メールでの御問い合わせを心よりお待ちしております。▲小生、本務である福岡県久留米市高良大社も来年より国庫補助を受けて御社殿御屋根替え事業も始まることとなり、ここ数年は福岡県と実家杵築市を往ったり来たりの日々が続きますが、これを楽しみと感じて、充実した毎日を感謝の気持ちで送らせて戴きます。(宣)